



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 太平製作所
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 齊藤 武
 (氏名) 桂山 哲夫
 TEL 0568-73-6411

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,174	85.8	585		598		424	
2019年3月期第3四半期	2,784	40.0	287		265		178	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 416百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 196百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	313.86	
2019年3月期第3四半期	133.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	8,995	5,350	59.5	3,937.22
2019年3月期	9,170	5,048	55.0	3,762.33

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,350百万円 2019年3月期 5,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		80.00	80.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				50.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2020年2月14日)公表しました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	9.1	680	32.5	710	31.9	490	36.8	362.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,500,000 株	2019年3月期	1,500,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	140,942 株	2019年3月期	158,278 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,351,751 株	2019年3月期3Q	1,341,914 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の減少を受け製造業の一部に弱さが見られるものの、雇用環境の改善などを背景として緩やかな回復基調で推移しております。

一方、世界経済においては、米国の保護主義政策による貿易摩擦や、英国のEU離脱問題に加え、中東情勢の不安定化や、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるなど、先行き不透明な状態が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、住宅市場の先行き不透明感から設備投資に対する慎重姿勢に変わりはありませんが、人手不足による効率化・省人化を急ぐ企業も多く、企業収益の改善により増加した内部留保を活用し、生産性向上を目的とした、工場の増改築や機械の入れ替えを検討される動きも見受けられます。

しかし、業界において人手不足の問題が想定以上に進んでおり、要望される効率化・省人化の目標も大きく、顧客ニーズにお応えする機械の開発に時間を要する案件が増えつつあります。

また、働き方改革に代表される労働対策への投資を優先される動きもあり、機械受注が伸び悩む状況となっております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動を継続しており、合板機械事業において受注が好調に推移したこと、前年においては納期が期末に偏り第3四半期までの売上が少なかったことに加え、第1四半期連結会計期間より、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したこと、工事進行基準を適用した影響もあり、売上・利益ともに前年同期に比べて大きく増加いたしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,174百万円(前年同四半期比85.8%増)、利益につきましては、営業利益は585百万円(前年同四半期は287百万円の営業損失)、経常利益は598百万円(前年同四半期は265百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は424百万円(前年同四半期は178百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動を継続してきたことから、受注が好調に推移いたしました。また、前年においては納期が期末に偏り上期の売上が少なかったことや、工事進行基準を適用した影響から、売上・利益ともに前年同期に比べて大きく増加いたしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,972百万円(前年同四半期比114.7%増)、営業利益は734百万円(前年同四半期は3百万円の営業損失)となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、顧客ニーズに合わせた機械の開発・改良に注力しておりますが、開発機械の市場投入には至っておらず、受注が伸び悩んでおります。また、国内最大規模の木工機械展示会に出展するなどの販促費用や、研究開発費が増加しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は459百万円(前年同四半期比86.7%増)、営業損失は135百万円(前年同四半期は159百万円の営業損失)となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、ツーバイフォー住宅の着工戸数が、一般住宅においては消費税増税の駆け込み需要の影響か、前期後半より微増しましたが、賃貸住宅向け着工戸数が大幅に減少しており、受注競争が厳しさを増しております。

受注において優位性を保つため、JAS認定工場の強みを生かした営業活動を強化するとともに、工務店向けの工場見学を開催し、品質や信頼性をアピールするなど付加価値を強化する営業活動に注力するとともに、設計見直しによるコスト削減に取り組んでおります。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は765百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益につきましては、63百万円(前年同四半期は5百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、6,985百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,880百万円減少、仕掛品が196百万円減少、現金及び預金が680百万円増加、有価証券が1,000百万円増加、流動資産のその他が247百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、2,009百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が24百万円減少、有形固定資産のその他が8百万円増加、投資その他の資産のその他が22百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、8,995百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.5%減少し、3,285百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が180百万円減少、前受金が205百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%増加し、359百万円となりました。これは主に、固定負債のその他が36百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.6%減少し、3,644百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、5,350百万円となりました。これは主に、利益剰余金が276百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

配当予想につきましては、2019年5月14日の決算短信で公表しました配当予想を修正しております。

具体的な内容につきましては、2020年2月14日に開示しております「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,930,273	2,611,115
受取手形及び売掛金	3,354,504	1,473,863
有価証券	1,000,000	2,000,000
仕掛品	571,907	375,215
原材料及び貯蔵品	288,529	250,958
その他	36,742	283,989
貸倒引当金	△17,814	△9,608
流動資産合計	7,164,142	6,985,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	620,582	595,991
土地	689,746	689,746
その他(純額)	149,143	157,210
有形固定資産合計	1,459,472	1,442,948
無形固定資産		
その他	69,962	67,271
無形固定資産合計	69,962	67,271
投資その他の資産		
その他	477,118	499,435
投資その他の資産合計	477,118	499,435
固定資産合計	2,006,553	2,009,655
資産合計	9,170,696	8,995,188
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,495,135	1,315,000
短期借入金	650,000	650,000
未払法人税等	107,800	67,690
賞与引当金	102,276	46,283
完成工事補償引当金	117,000	170,000
前受金	1,067,531	862,306
その他	258,892	173,950
流動負債合計	3,798,634	3,285,230
固定負債		
役員退職慰労引当金	18,736	18,736
退職給付に係る負債	250,075	248,930
その他	55,245	91,374
固定負債合計	324,056	359,040
負債合計	4,122,691	3,644,271

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	88,842
利益剰余金	4,398,400	4,674,563
自己株式	△207,419	△184,718
株主資本合計	5,018,181	5,328,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,823	22,230
その他の包括利益累計額合計	29,823	22,230
純資産合計	5,048,005	5,350,917
負債純資産合計	9,170,696	8,995,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,784,585	5,174,896
売上原価	2,469,476	3,889,710
売上総利益	315,108	1,285,186
販売費及び一般管理費	602,348	699,767
営業利益又は営業損失(△)	△287,240	585,419
営業外収益		
受取利息	90	83
受取配当金	4,067	3,729
鉄屑売却収入	3,755	2,231
受取保険金	13,192	6,892
保険解約返戻金	217	547
その他	3,045	2,341
営業外収益合計	24,368	15,826
営業外費用		
支払利息	2,458	2,363
その他	80	—
営業外費用合計	2,538	2,363
経常利益又は経常損失(△)	△265,410	598,882
特別利益		
固定資産売却益	—	385
特別利益合計	—	385
特別損失		
固定資産除却損	—	2,222
投資有価証券売却損	1,285	—
その他	98	—
特別損失合計	1,383	2,222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△266,794	597,044
法人税、住民税及び事業税	637	189,857
法人税等調整額	△88,945	△17,084
法人税等合計	△88,308	172,772
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,486	424,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,486	424,272

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,486	424,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,394	△7,592
その他の包括利益合計	△18,394	△7,592
四半期包括利益	△196,880	416,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,880	416,679

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(工事進行基準の適用)

第1四半期連結会計期間において、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したことから、当該請負において第1四半期連結会計期間より工事進行基準（進捗の見積もりは原価比例法）を適用しております。

なお、これにより、売上高が2,351,093千円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が724,207千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,846,223	202,046	736,315	2,784,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,751	44,020	—	47,771
計	1,849,974	246,066	736,315	2,832,356
セグメント利益又は損失（△）	△3,340	△159,429	5,347	△157,422

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△157,422
未実現利益の消去	249
全社費用（注）	△130,067
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△287,240

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,972,433	437,136	765,327	5,174,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,271	—	22,271
計	3,972,433	459,407	765,327	5,197,168
セグメント利益又は損失(△)	734,070	△135,094	63,932	662,908

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	662,908
未実現利益の消去	235
全社費用(注)	△77,724
四半期連結損益計算書の営業利益	585,419

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(工事進行基準の適用)

第1四半期連結会計期間において、進捗部分についての成果の確実性が認められる重要な請負契約が発生したことから、当該請負において第1四半期連結会計期間より工事進行基準(進捗の見積もりは原価比例法)を適用しております。

なお、これにより、合板機械事業の売上高が2,240,433千円増加、営業利益が687,119千円増加し、木工機械事業の売上高が110,660千円増加、営業利益が37,088千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。